



わたなべ しゅん
渡邊 隼

心臓血管外科医師

日本心臓血管外科学会
U-40初代代表

■経歴

2005年 卒業。倉敷中央病院、小倉記念病院、東京ベイ浦安市川医療センターでの心臓血管外科医として活躍後、現在はタイのLampang Hospitalでクリニカルフェローとして診療に従事。

JAYCS (Japanese Association of Young Cardiac Surgeons) の九州沖縄支部世話人を経て、2014年ー2018年の4年間、U-40初代代表を務める。

2021年4月より鹿児島県の社会医療法人緑泉会米盛病院 心臓血管外科 成人心臓血管部長として診療開始予定。

■日本心臓血管外科学会U-40(U-40)とは

2014年2月に日本心臓血管外科学会主導で発足した40歳以下の会員”全員“で構成される正式な学会内の組織。

「患者」「メディカルスタッフ」「心臓血管外科医」の3つの笑顔の実現に貢献することを理念としている。

全国8支部毎、もしくは全国区でのoff the job training、会員が経験したトラブルを基に対処法を共有する、技術定量化プロジェクト、U-40のアンケートを通じた若手医師の意見の集約化、働き方working groupなどを「若手による若手のための会」として活動を行っている。



おおや のぞむ
大矢 希

精神科医師

日本若手精神科医の会
(JYPO) 代表

■ 経歴

2012年 卒業。京都府立医科大学附属病院、舞鶴医療センター、北部医療センター勤務を経て、
2018年 京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学 博士課程に進学。
2019年6月よりJYPO 理事長を務める。

■ 認定NPO法人 日本若手精神科医の会(JYPO)とは



若手精神科医が施設や立場を超えて交流することを目的としている。

①精神医療のリーダーを育む ②世界的な視野のもと行動する ③社会のメンタルヘルスの向上に努める
の3つを理念とし、様々なワークショップや交流会、国際的視点に基づく臨床・研究活動、社会への
還元・普及活動を精力的に行っている。

2002年設立。2008年よりNPO、2016年より認定NPO法人。

現在正会員は100余名。入会後は6年で“卒業”し、その後はOB/OG・賛助会員として現役会員をサポートする制度となっている。



いたい としゆき

板井 俊幸

産婦人科医師

神奈川県若手産婦人科医の会
KTOG 初代代表

■経歴

2009年 卒業。2011年 横浜市大産婦人科入局。横浜市立大学附属病院、小田原市立病院、神奈川県立こども医療センターの勤務を経て、現在は横浜市立大学遺伝学教室の博士課程4年生。

■若手活動

KTOG(Kanagawa Trainees in Obstetrics & Gynecology); 代表(2016-2018), 委員(2018-現在)

日本産科婦人科未来委員会内 若手委員会 委員 (2016-2018)

■KTOG(神奈川県若手産婦人科医の会)とは

大学・施設の垣根を超えた神奈川県単位でのリクルート強化を目的とした組織で、2016年4月より活動開始。主なスタッフは卒後6～15年目の産婦人科医師で、所属施設は神奈川県に本院がある4大学(東海大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学)、分院が存在する大学(昭和大学、日本医科大学、帝京大学)やそのほかの市中の中核病院など。

主な活動は、毎年泊りがけで行われる初期研修医箱根セミナーのほか、働き方改革について考えるワークショップ開催、若手医師向けのハンズオンセミナーや勉強会の開催など。



くりはら やすし

栗原 康

産婦人科医師

Plus One Project in Kansai

POPK 代表

■ 経歴

2008年 卒業。大阪市立大学入局後、同大学でリクルート活動の中心を担う。

日本産科婦人科未来委員会内若手委員会 委員 (2016-2018)

2019年 第1回POPKを開催、初期研修医1年目だけを対象に、初回にして約40人を集め成功をおさめる。

■ POPK(Plus One Project in Kansai)とは

近畿の若手委員OBである若手産婦人科医師が中心となり企画した関西版 POP。

2019年に第1回 POPKを大阪で開催した。

※POP(Plus one project): 日本産科婦人科学会未来委員会が毎年開催している企画。

研修医2年目に対する最後のひと押しをするべく、ハンズオンセミナーや相談会を行う。